

市政方針説明を行う新宮正志市長
(2月26日・議場)



まちの方針と 予算

「協働改革元年」

平成16年度を新たなスタートの年と位置付けました。

住民自治による自主・自立に向けた取り組みを示した市政方針の主な内容と予算、教育行政方針説明の概要をお知らせします。

〔各会計予算の総括表〕

区分	予算額	前年度比(%)
一般会計	412億1,700万円	-3.4
特別会計	国民健康保険	103億円 +0.5
	土地区画整理	10億4,400万円 -27.7
	住宅事業	12億6,900万円 -15.7
	老人保健	118億1,700万円 0
	介護保険	54億1,600万円 +3.6
	小計	298億4,600万円 -1.3
企業会計	水道事業	29億8,100万円 -8.6
	工業用水道事業	1,500万円 -25.0
	病院事業	109億2,800万円 -2.4
	中央卸売市場事業	2億5,000万円 -18.3
	白鳥台開発事業	2,400万円 +4.3
	港湾整備事業	5億400万円 -13.3
	下水道事業	46億5,700万円 -6.5
	小計	193億5,900万円 -4.9
合計	904億2,200万円 -3.0	

平成16年度予算額

()内は前年度比

一般会計 412億1,700万円 (3.4%減少)

実質規模は388億5,700万円 (7.6%減少)

特別会計 298億4,600万円 (1.3%減少)

実質規模は292億3,300万円 (1.1%減少)

企業会計 193億5,900万円 (4.9%減少)

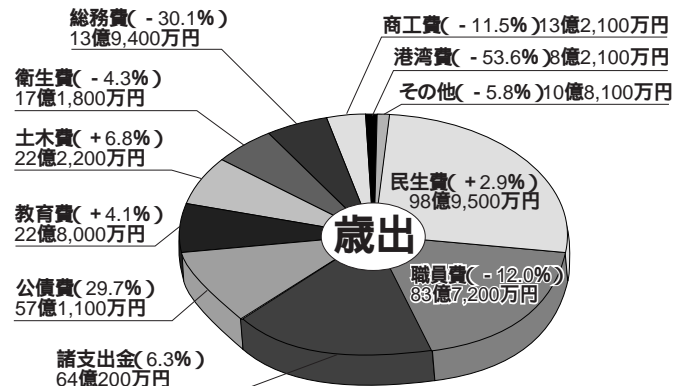
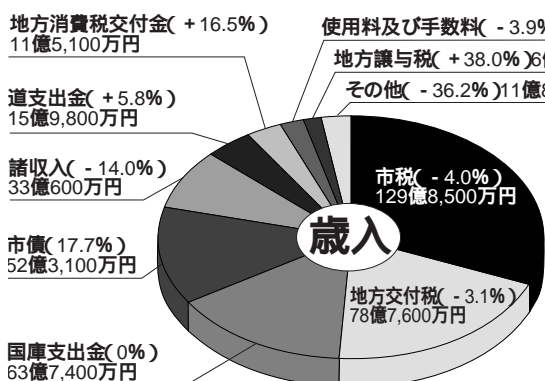
総額 904億2,200万円 (3.0%減少)

実質規模は874億4,900万円 (4.9%減少)

実質規模は減税補てん額の借り換え分、NTT債償還分及び会計間の貸し付けを除いた額

一般会計予算額の内訳

()内は前年度比



前年度比は平成15年度6月補正後予算額との比較

平成16年第1回市議会定例会 市政方針説明 の概要

私は、3期目の市政を担うにあたり「4つの指針と34の政策」の実現に向け市政運営を進めてきました。

昨年を振り返ると、企業の破たんやフェリー航路の存続危機などが相次ぎ、これまで以上の大胆な行財政改革が迫られた年でした。

しかし、年末までには企業再建の方角づけや、フェリーの事業者管財人の決定などがされ、基幹企業は、いずれもフル生産で年を越すなど、地域経済の活性化に向けた力強い動きも感じられてきました。

国からの税源移譲や、市税収入の動向が不透明な中でも、行財政基盤の再構築に向け、「行財政改革」を実行し、市民と協働する「ものづくりのまち」としての再生に努力し、今後、「ピンチの中からチャンスをつかむ」という自信をもとに、市民とともにこの変化の時代を乗り越えていく決意です。

市政運営の考え方

本市は、港とともに歩む「ものづくりのまち」として長い歴史を刻み、輝かしい伝統と資産を受け継ぐ一方、高度成長期以降の産業構造の急速な変動

による人口減少、少子・高齢化など厳しい変化にさらされています。

この大きな転換の中にある室蘭を根底から見つめ直し、「改革・再生・創造」を信条として、未来につながるまちづくりを心がけてきました。

今後5年間の収支不足額が約52億円になるとの試算結果から、財政再建団体に陥ることを避けるため、市民とともに進めるまちづくりを目指し、「協働改革プラン」をまとめました。

今後改革を進めるにあたっては、市民の皆さんと困難を分かち合い、改革への理解・参加をお願いするとともに、スピードと実効性を高めるために、協働の精神を発揮し、積極果敢に行動していきます。

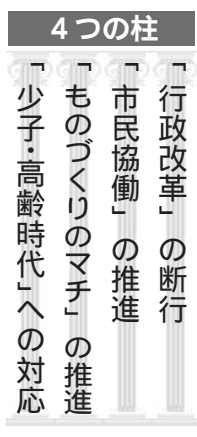
また、室蘭の自主・自立は、幾多の改革と再生に向けた努力を積み重ね、市民自治に基づく創造性が発揮される中で、はじめて実現されるものと考えています。

私は、自治の本旨に立ち返り、行政をスリム化していく中で、より質の高い公共サービスを提供するため、行政と、市民や企業、大学、町会やNPO、ボランティアなどとの、「市民協働」による市民参画のまちづくりを推進しなければならぬと考えています。

さらに、時代のニーズや事業効果を見定め、市民への説明責任を果たしながら、本市が持つ資源を最大限に活用して、創造的な政策形成に努めます。

予算編成の考え方

予算編成にあたり当初に約8億3千万円の財源不足が見込まれたことから、徹底した総点検・見直しを行うとともに、4項目を政策の柱と定めました。



一般会計予算の歳入で、経済状況の影響等による減少で、市税は、130億円を割り込み、地方交付税・臨時財政対策債などを合わせて、前年度に比べ一般財源で約9億7千万円が減少。国の「三位一体の改革」による地方負担の増大など、財政見通しに比較しても大幅な減少となりました。

歳出は、協働改革プランの実施により、節減効果は目標を上回る約12億8千700万円にのぼり、財源の減収をカバーしています。備荒資金組合積立金を取り崩すことなく、収支均衡を図ることができました。

「行財政改革」の断行

職員の給与見直しにより、人件費を大幅に削減しました。また、事務のあり方などの徹底した見直しにより、内
部経費等の圧縮を図っています。

市民サービスの範囲、負担のあり方を見直す視点で、「総合福祉センター入浴料の負担」、「除雪の出動基準の見直し」による経費節約などのほか、補助金のカットなどを実施します。

学校給食センターをはじめとする民間委託や、公共施設の配置やあり方などの見直しを続けます。

「市民協働」の推進

協働の仕組みづくりに向けて、市民活動の相互連携を図るネットワーク形成や、地域特性を生かした公園、道路の自主的な美化活動などを積極的に実施する仕組みを導入します。

各種委員会での市民公募委員の拡大など、市民参加の機会を増やすことや、行政パートナーとなる地域の人材を掘り起こし、協働の体制づくりを進めます。また、市職員が進んで市民の輪に加わり、ともに汗を流す環境づくりに努めます。

市民と行政の情報の共有化に向け、広報紙、マスコミなど様々な媒体の活用と、市のホームページのリニューアルなどにより充実した情報を発信します。

情報公開条例の見直しや、各種委員会の公開など、情報の公開に努めます。また、市民と行政の情報交換を充実するため、公共端末などの活用や、近隣市町村との連携によるシステムの共同利用を進め、地域の情報化を推進します。

主な新規施策等と予算

点線後の数字は予算額（単位：万円）

新は新規、拡は拡充

「行財政改革」の断行

6ページの「協働改革プランの主な実施効果」を参照

「市民協働」の推進

市民参画

市内NPO等のまち

づくりネットワーク形

成推進..... 拡13

「市民協働」の推進

[行政ボランティアの

公募、地域住民による

公共の場の自主管理制

度の推進など]... 新22

民間委託等

広報むろらん編集[紙面レイアウトを一部

民間事業者に委託]..... 新134

白鳥保育所運営管理[福祉事業協会に委託

(指定管理者制度)]..... 新10,512

スクール児童館運営管理[中島・日新小学

校内に開設]・..... 新1,150

中央卸売市場運営管理[管理部門の一部委

託]..... 新516



「ものづくりのまち」の推進

ものづくりのまち

全国たたらサミット

開催補助..... 新30

ものづくり創出支援

事業..... 1,540

新分野展開支援事業

補助..... 新166

企業誘致推進... 拡268

環境

環境産業拠点形成事業..... 212

環境基本条例制定・基本計画策定に向けた

取り組み..... 拡67

西いぶり廃棄物処理広域連合への負担金

[多目的広場・緑地の整備]..... 拡63,209

し尿前処理施設整備..... 拡16,729

畜産環境保全施設整備事業補助[たい肥製

造施設を新たに1基増設]..... 拡950

雇用対策

職業能力開発支援事業..... 550

再就職援助奨励金..... 630

若い力・人づくり奨励金..... 1,150

母子家庭等自立支援給付金支給事業

..... 新106



「ものづくりのまち」の推進

環境産業のコンビナート化に取り組む
(写真はリサイクル資源の活用を進める
日鐵セメント)



室蘭テクノセンター、室蘭工業大学
などの産・学・官連携による「もの
づくり創出支援事業」や「新分野展開
支援事業」などにより新技術を育てる
とともに、新製品の開発や販路開拓の
支援に取り組めます。

若者の雇用確保を目指した、若い力・
人づくり奨励金」や、失業者を支援す

る「再就職援助奨励金」などにより雇
用促進を図ります。

また、「職業能力開発支援事業」と
して、従来の事業を整理統合し、情報
処理資格取得による雇用拡大を目指し
ます。

企業誘致は、地元企業と連携した情
報収集に努めるとともに、新しいパン
フレットの作成などにより積極的に情
報を発信し、環境産業に重点をおいた
企業誘致を図ります。

環境産業拠点形成の取り組みでは、
室蘭工業大学発のベンチャー企業の設
立をはじめ、リサイクル関連の新規企
業の進出などがありました。環境産
業が集うコンビナート化へ向け、さら
なる推進と、地域活動の活性化につな
げる取り組みを展開します。

市民参加のもと、「環境基本条例」
の制定を進め、環境に対する方向をよ
り確かにするよう努めます。

し尿の効率的な処理を行う「し尿前
処理施設」の工事を開始し、平成17年
度の供用開始を目指します。

環境産業の中核プロジェクトである
PCB廃棄物の広域処理事業について
は、昨年11月、国から拡大大要請があり
ました。これについて市民意見の把握
や、宮城県知事からの直接の検討要請
を受け、取り組み経過を伺うとともに、
15県の検討状況、事業を拡大した場合
の安全性について、専門家の見解など
を総合的に判断し、安全性確保の目的
が立つたことや、PCB廃棄物の早期
処理による日本の環境保全への貢献、
環境産業都市形成へ向けた地域振興へ
の効果などから、拡大大要請を受け入れ
る方向で検討を進めることとしました。
今後市民理解に努め、3月末に最終
的な結論を出し、適切な対応を行って
いきます。

室蘭港では、フェリー岸壁の耐震化

港湾の利用促進に向けフェリーふ頭などを整備



等の整備を進めます。また、国際テロ
対策の保安対策整備を進めますが、中
央ふ頭の客船バスについては、市民
に開かれた空間としてフェンスを移動
式にするなど、地域の実情に即した整
備を進めます。フェリー航路の存続に
ついては、岸壁の耐震化・公共ふ頭化
や港湾の利用促進に向けた活動と運動
して対応を図ります。

祝津地区で整
備を進めてきた
親水緑地は、本
年度中に砂場部
分の供用を開始
し、白鳥大橋周
辺のにぎわいづ
くりのため、有
効活用を図りま
す。

温泉開発は、
市民の心身リフ

「少子・高齢時代」への対応

児童福祉 次世代育成支援行動計 画策定	新270
白鳥保育所改修	拡1,877
休日保育 [中島保育所で実施]	新500
一時保育 [中島・常盤保育所で実施]	拡398
乳児 (産休明け) 保育 [8 保育所で実施]	拡11,850
児童手当 [支給対象年齢の上限を6歳から 9歳に拡大]	拡41,202
児童館・児童クラブの開設時間延長	拡506
スクール児童館整備	拡669
学習環境 不登校対策訪問アドバイザー [2人から4 人に増員]	拡891
星蘭中学校建設	拡43,563
朝陽・母恋小学校統合校建設のための地質・ 測量調査	新590
小中学校パソコン等整備 (222台)	拡1,804
特別支援学級開設 [常盤・本室蘭小学校、 北辰・蘭東中学校に開設]	拡650
私立幼稚園就園奨励費補助	拡7,253
給食センター施設整備	拡3,285
バリアフリー推進 共生のまち推進事業 [身体障害者デイス アサービス車両整備、坂道手すり設置]	拡3,140
市場通線、東口通線歩道改良 [バリアフ リー化]	拡6,400
高齢者福祉 「いきいきデイ銭湯」事業	1,564
配食サービス事業	2,883
障害者福祉 支援費制度による扶助費等	118,741
健康 救急業務の高度化に向けた取り組み	拡480
保健事業 [国保加入者の脳ドック助成件数 の拡大]	拡648
市立病院の特定集中治療室 (ICU) 整備 等	53,989
都市基盤整備等 T V 難視聴対策 [崎守町を対象]	新2,347
追直新港区整備 [トイレ、遊歩道、植栽な ど]	6,660
東室蘭駅周辺地区整備	36,301
知利別川整備 (受託事業)	拡33,316
港湾整備 (フェリー岸壁の耐震化、祝津地 区の親水緑地整備等)	68,600
市営住宅シャワーユニット整備 [白鳥台団 地でモデル実施]	新370

市政方針、教育行政方針説明の全文と平成16年度予算の概要については室蘭市のホームページからご覧になることができます。



少子化への対応は、4月にオープンする中島保育所に子育て相談ふれあいセンターを移転するほか、市内で初めての休日保育を実施



新築保育施設は、子育て支援機能の充実を図るため、中島保育所に移転した。

「少子・高齢時代」への対応

追直地区のMランド計画では、周辺の歩道整備を実施し、市民と一体となった生産・研究・観光など、「ふれあい」と「つくり育てる」漁港づくりに向け着実な整備を図ります。



高齢者の生きがい増進を図る(総合福祉センター)

します。また、少子化対策の推進を図るため「次世代育成支援行動計画」を策定します。
高齢化への対応は、介護保険制度の適切な運営を柱とし、高齢者の生きがい増進と社会参加を進めます。
障害者への対応は、支援費制度の充実に取り組み、地域で安心して生活が送れるよう、デイスサービスやショート

将来への準備 創造への課題
本市の人口は、10万人を下回る事態が想定されます。
ただちに市政運営に直接的な影響はないとしても、少子・高齢化の進行、若年者の減少という人口構成の変化に対応したまちづくりが求められます。

私は、平成16年度を協働改革元年、新たなスタートの年と位置付け、改革からはじまる再生・創造のまちづくりに全力を尽くす覚悟です。

また、長年、10万都市であった一つの誇り、市民の思いに、影響を与えることは否めません。
私は、協働改革で発揮した根本から見直す姿勢と、困難からプラス志向の創造的解決を導く発想で、子供や若者、高齢者が世代を超えて協働・共生する地域コミュニティのため、これまでの制度や地域概念にとらわれない定住対策を検討していきます。
地域特性を生かした住環境の実現や、学校統合による平坦な土地の確保など、市民・企業の理解と協力のもとに推進していきます。

また、長年、10万都市であった一つの誇り、市民の思いに、影響を与えることは否めません。
私は、協働改革で発揮した根本から見直す姿勢と、困難からプラス志向の創造的解決を導く発想で、子供や若者、高齢者が世代を超えて協働・共生する地域コミュニティのため、これまでの制度や地域概念にとらわれない定住対策を検討していきます。
地域特性を生かした住環境の実現や、学校統合による平坦な土地の確保など、市民・企業の理解と協力のもとに推進していきます。



図書館ボランティア「わにの会」は、市民が担う新しいかたち

平成16年度予算における

協働改革プランの主な実施効果

「協働改革プラン」の実施により、平成16年度予算では、計画していた節減額を上回る12億8千710万円の節減を図りました。その主な実施事項をお知らせします。



● 行政システムの改革

公共サービスの利便性の向上

- ・ 図書館の検索、予約、貸し出しシステムの本格稼働
- ・ 各種申請書の様式をパソコンからダウンロード可能に
- ・ サービスセンターの窓口を、転入・転出の多い3・4月に時間延長
- ・ 児童館・児童センター、児童クラブの開館時間を延長
- ・ 一時保育の拡大と休日保育を開始

施設の見直し

- ・ 学校改築計画や余裕教室の活用計画を推進
- ・ 中島小学校と日新小学校にスクール児童館を新設

民間委託の推進

- ・ 白鳥保育所、スクール児童館の運営、広報むろらの編集の一部を委託

外郭団体等の見直し

- ・ 中央卸売市場の管理業務を一部委託

● 財政構造の改革

事務事業の評価と見直し

- ・ リサイクル推進員を廃止
- ・ 電動生ごみ処理機、コンポスト購入助成を廃止
- ・ 各種表彰経費（記念品など）を見直し
- ・ 祝津交通公園のゴーカートを廃止

歳出構造の見直し

- ・ 旅費制度を見直し

人件費の圧縮

- ・ 寒冷地手当を引き下げ
- ・ 退職手当を引き下げ

歳入確保の取り組み

- ・ 市有地の売却を促進
- ・ 市のホームページに広告を掲載

平成16年度予算で見直した主な事業（24事業）について「事務事業評価」を実施しました。詳細は4月12日から財政課（本庁3階）東・中島サービスセンターのほか、室蘭市のホームページからご覧になることができます。

計画と予算の実施効果額

実施項目	計画	16年度予算
市民協働	820万円	3,750万円
行政システムの改革	40万円	2,290万円
財政構造の改革	2億3,730万円	2億9,670万円
サバイバルへの緊急対策	6億2,160万円	9億3,000万円
計	8億6,750万円	12億8,710万円

● 市民協働

民間能力の活用

- ・ 祝津地区の温泉源は民間活力により開発
- ・ 行政ボランティアを公募し登録者データ情報を提供
- ・ 民間団体によりゴーカートを運営
- ・ 地域の皆さんによる公園などの自主的な管理を推進
- ・ NPOなどのためのまちづくりネットワーク形成へ向けた準備

公共サービスの範囲と負担の見直し

- ・ 総合福祉センターの入浴料やふれあい市民農園の経費の一部を利用者が負担
- ・ 各種講座の実費を参加者が負担
- ・ 除雪の出動基準を見直し

政策・事業決定への市民参加

- ・ 市民参加による団体補助金や審議会の見直し
- ・ ホームページの充実により情報提供を拡大

● サバイバルへの緊急対策

- ・ 特別・企業会計への繰出金の圧縮
- ・ 建設事業の一般財源を圧縮
- ・ 団体補助を中心に対象経費の見直しや自主財源の活用・確保などによる10%削減
- ・ 内部管理経費の徹底した削減
- ・ 期末勤勉手当を独自に削減

教育行政 方針説明

「人を大切に作る心」の育成に向けて取り組む、教育行政方針の5つの基本方針と重点施策の概要をお知らせします。

教育行政方針説明を行う
門馬一三四教育長



スクール児童館を中島小学校と日新小学校に開設し、平成17年度には知利別小学校でも開設を予定しています。また、児童館・児童クラブの開設時間を延長し、放課後児童対策の充実に努めます。

家庭・地域とともに
子供を育てる取り組み

学校と地域が一体となり、養育に関する情報提供や、学習の場を強化していきます。また、学校の余裕教室を、子育てサークル活動への支援の場とするほか、父母と教育・保育職員との交流を通して、家庭教育の大切さを発信します。

幼稚園への2歳児入園について、関係者との協議を進めます。

時代の進展に対応する
教育の充実

教職員の指導力向上のための研究を積み重ねるとともに、家庭学習の充実に向けて保護者と教職員との連携を深めます。

子供たちの「豊かな心」をはぐくむため、協力者の支援を得て、学校外での体験学習を充実していきます。

市立図書館については、蔵書検索や貸出予約システムを整えましたが、利便性の向上に今後努めます。また、ボランティア団体の支援による「本の読み聞かせ」の機会を充実していくとともに、「室蘭市子ども読書活動推進計画」を策定します。

インターネットを活用した授業や、調べ学習など、学習プロセスを豊かにしていくとともに、教職員のコミュニケーション活用能力の向上に努めます。

小学校から外国の生活・文化に親しめる学習活動を進め、英語指導助手と連携しながら児童生徒の国際的な視野の育成に努めます。

特別支援学級を、新たに小学校2校、中学校2校に開設します。

学校運営や、通学区の児童生徒をあらゆる面から見守る学校評議員の本格的な導入を図ります。

学校の二学期制については、今後関係者と協議を行い、研究を進めます。

学校と家庭が連携し、「食育」の充実に努める



連続性・継続性のある教育活動を行う小中一貫校について、確かな学力と個性や能力を伸ばす視点で研究を行います。

安心・安全な教育環境の充実

子供の様子を的確に把握し、児童施設、学校、家庭が密接に結びつく取り組みを強化します。

虐待や不登校の児童生徒への対応として、教育相談体制の充実に努めます。

不審者対策については、学校職員が一体となり、緊急事態への対応について徹底を図るとともに、地域への確に情報を公開し、連携の強化に努めます。

学校と家庭が連携し、食事を通じて社会性をはぐくむ「食育」の充実に努めます。

市民と協働する生涯学習の推進

文化、芸術、スポーツの振興については、学校の余裕教室の活用を含めて利用施設の確保に努めるとともに、これまで行われてきた講座の見直しを進めながら生涯学習の振興を図ります。

学習機会等の情報提供については、市のホームページから閲覧、検索でき

を残す歴史を
重要な指定史跡
「南部藩陣屋跡」



るよう利便性の向上に努めます。

種目や世代、技術を超えてスポーツに親しむ「総合型地域スポーツクラブ」の設置を促進します。文化クラブについては、学校の余裕教室の活用などについて、文化団体と協議を進めます。

文化財の保護と活用については、国の指定史跡である南部藩陣屋跡が、開設以来150年の節目を迎えることから、特別展や学校での巡回展を行います。

「港の文学館」は、図書館から分離した独立施設として管理運営を進めます。将来を見据えた計画の推進

男女平等参画社会の実現に向け、地域や関係団体との協働による推進体制を整備しながら取り組みを進めます。

成徳・御前水中学校を統合し、平成18年度に開校予定の星蘭中学校の校舎建設に着手します。朝陽・母恋小学校の統合については、統合推進協議会と協定を結ぶとともに、基本設計を進めます。

公立高校の統合再編については、方向性が明らかになり次第、高校対策協議会で協議を行っていきます。

平成17年度からの公立高校の通学区域拡大に伴い、生徒、保護者への進路指導に、きめ細かに対応していきます。